



議会だより

たまかわ

No.174

令和6年
1月25日

12月定例会

主な内容

秋冬の風景	 2
議員定数は現状維持の12人	... 4~5
議案審議・第3回臨時会	 6~7
村政ここがききたい	 8~12
全員協議会(議員定数の協議)	... 14~15
議会活動	 17~19
村民の声	 20



あす
輝く未来へ、羽ばたく二十歳

(令和6年玉川村二十歳を祝う会)

ちゃんとやいてよ!



(認定こども園たまかわクックの森)

秋冬の 風景

自然を学ぶ



(須釜小学校)

玉川村消防団の初陣



(消防出初式)

『ヤー!!』決まった👌



(玉川中学校)

最後まであきらめず!
《フアイト》



(玉川第一小学校)

審議議案と各議員の賛否

○は賛成、×は反対、提は提出者。須藤議長は採決に加わらないため空欄。
全会一致で賛成の場合は個別の賛否は省略しました。

番 号	件 名	採決	大 羅	佐 久 間	小 針	石 井	渡 邊	小 林	大 和 田	飯 島	西 川	三 瓶	塩 澤	須 藤
議案第61号	村長等の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	期末手当の支給率を引き上げる改正											
議案第62号	議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	期末手当の支給率を引き上げる改正											
議案第63号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	令和5年度人事院勧告及び福島県人事委員会勧告に準じ、給料表及び期末・勤勉手当等の改正											
議案第64号	玉川村国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	国民健康保険税の納税義務者の世帯に出産被保険者が属する場合における所得割額、均等割額などの所要額の改正											
議案第65号	令和5年度一般会計補正予算（第3号）	可決	7ページに記載											
議案第66号	令和5年度介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決	歳入歳出それぞれ134万円を追加し、予算総額を7億5,469万円とする。											
議案第67号	令和5年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決	歳入歳出それぞれ174万円を追加し、予算総額を6,790万円とする。											
議案第68号	令和5年上水道事業会計補正予算（第1号）	可決	収益的収入支出それぞれ642万円増額し、予算総額を2億5,155万円とする。											
議案第69号	令和5年度農業集落排水事業会計補正予算（第2号）	可決	収益的収入支出それぞれ32万円増額し、予算総額を1億7,874万円とする。											
議案第70号	玉川村ふれあいセンター改修工事請負契約の締結	可決	6ページに記載											
議案第71号	旧駒木根工業（株）工場等解体工事請負契約の締結	可決	〃											
議案第72号	すがまプラザ校庭法面地すべり防止工事請負契約の締結	可決	〃											
発議第3号	議会基本条例制定特別委員会の設置	可決	16ページに記載											
選任第4号	議会基本条例制定特別委員会委員の選任	選任	〃											
報告第6号	議会基本条例制定特別委員会委員長及び副委員長の互選	報告	〃											
発議第4号	議会議員定数条例の一部を改正する条例	否決	×	×	提	○	×	○	○	×	×	×	○	

※読みやすくするため、議案件名を一部省略しています。

議会を傍聴しませんか 12月定例会の傍聴人数 17人（令和5年累計傍聴人数68人）
次回の定例会は3月上旬を予定

条例改正(案)」は否決

維持の12人～

あらまし

玉川村議会12月定例会は12月8日から13日までの6日間の会期で開催された。
今定例会では、条例改正や補正予算、工事請負契約締結などの議案12件、議員発議2件を審議した。
また、一般質問には4名の議員が登壇し、村執行部の考えを質した。

住民アンケートの結果

を踏まえ、全員協議会で議員定数見直しの討論を重ね、本定例会において『議員定数を10人とする条例改正(案)』を議員発議により提出、本会議での活発な審議の結果は、賛成少数により否決された。

議員発議の提出者は小針竹千代、賛成者は塩澤重男・小林徳清。

【質疑】

飯島議員

削減する最大の理由は何か。

小針議員

アンケート結果での民意は、58%が削減すべきであったため。

飯島議員

アンケートはあくまでも参考意見であり、それを基にするのは如何なものか。

小針議員

アンケート結果は民意であり、その結果を反映させるのは当然である。

【討論】

反対討論

佐久間議員

議員定数見直しに反対しているの

ではなく、今回は十分に議論する時間がない中で削減のため、反対であります。

アンケート結果でも、50代以下の意見は現状維持が多く、「現状維持12人」と「10人に削減」の意見も僅差であります。そういった若い方の意見を切り捨てても良いものか疑問を感じます。

議会基本条例制定とともに議会改革を自らが進め、内容を公開していくことが求められている中で、いまだ議論の準備段階であり、様々な観点から十分な議論を尽くしていくべきであります。アンケート結果の民意だから即削減すべきではなく、今回は拙速であるので反対であります。

飯島議員

病人が多数出たりして欠席が多くなってしまう場合、議員数が少ないと議会が成り立たなくなる恐れがあ

るとの思いで、現状維持の判断をしました。

今回新たな特別委員会が設置され、業務が多くなり、議員一人当たりの業務負担が増加している中で、これ以上人数が少なくなると本来の活動ができなくなり、村内の隅々まで行き届かなくなることは間違いないので、削減に反対します。

三瓶議員

今回のアンケートをすべて確認し、皆様の思いや考えをいろいろな方面から検討しました。アンケート結果を見ると、現状維持の12人との意見が多かったのは、20代・30代・40代・50代であります。回答数では、60代以上からの回答が最も多く、偏っているのではと感じます。20代・30代・40代・50代の貴重な意見を尊重すべきであり、反対します。

「議員定数を10人とする

～ 議員定数は現状

賛成討論

小林議員 私は民意と

ともにあります。少子高齢、人口減少にあえぐ市町村の情勢は、減少に伴う議員定数削減方向となつていく趨勢^{すうせい}であります。

アンケート調査の回収率は57・20%で、約60%の民意は削減を求めている、これに反する12名の現状維持は、村民の理解が得られないばかりか、アンケートの意味をも成さない民意無視の事態となり、議会・議員に対し不信任を招き、我が身の保身と批判を受けることになるかと推察します。

少子高齢・人口減少に歯止めがかからない中、今後の推移に懸念を感じている議員として、多くの民意を反映させる職務と責務から、今回のアンケートに基づく定数2名

削減に大いに賛成であります。

塩澤議員 定数見直し

削減の提案に賛成します。今回のアンケートでは、定数増、現状維持、定数削減、定数削減で一番多かったのが10名に削減、あるいは8名に削減等、様々な意見がありました。そのうち削減というのが過半数の58%を占めています。村民の意見、意向は削減との結果であります。

人口減少が加速する中、議員定数も減らすべきであり、村民の意見に真摯に受け止め、定数削減に賛成します。

大和田議員 賛成の立場で発言します。先程からアンケート結果の話が出ています。当然に少数意見の尊重も十分に考えなければなりません、数字の世界なので、多い方に重視を置くことの考えに賛同します。

減った場合には当然メリット・デメリットが出ますが、それは今後十分協議しながらカバーしていけばいいと思います。それぞれの議員がすぐに活動できる環境づくりを進めていき、そういったものを克服しながら十分対応できると考えますので、賛成します。

石井議員 私は賛成の立場であります。近隣の

町村では現に10名で運営しているところも多くあります。人口関係だけでなく、予算関係も考慮しながら、我々は住民の代表として、村をいかにして良くしていくか、活性化していくのかを考える必要があります。議員自ら身を削ってやっていないと村も活性化しないと思いますので、賛成します。

採決

反対6人、賛成5人の賛成少数で、定数10人とする改正案は、否決されました。

よって、議員定数は現状維持の12人となりました。

反対

6人

三瓶 力、西川良英、
飯島三郎、渡邊一雄、
佐久間安裕、大羅 将

賛成

5人

塩澤重男、大和田宏、
小林徳清、石井清勝、
小針竹千代

議案審議

議案第70号

玉川村ふれあいセンター
改修工事請負契約の締結

〔質疑〕

小針議員 3月25日まで

での電気系統の工事だが、多くの方が利用している。

この工事で施設の休み



玉川村ふれあいセンター

等が発生するのか。

健康福祉課長 電気工

事については、部屋ごとに行うので、利用されている方にご不便が生じないように工事していくため、休みになる予定はない。

小林議員 入札の執行

率が97・5%だが、適切か。

健康福祉課長 入札の

執行については、厳正に行っており、その結果です。

議案第71号

旧駒木根工業(株)
工場等解体工事請負
契約の締結

〔質疑〕

小林議員 予算額70

00万に対し、予定価格がほぼ同額なのは。また解体坪単価は。

遊水地対策室長 当初



旧駒木根工業(株) 工場跡地

予算の計画は、設計を行った額を使っており、入札に関しては、各会社積算をして、厳正に行われている。

解体費用は平米当たり約2万6800円になる。

小針議員 油の流出が

心配されているが、金額に含まれているか。

遊水地対策室長 土壌

の調査を行い、リサイクル法に基づいて処分をするため、その分も積算している。

石井議員 脇にある田

んぼの水路の管理は。

遊水地対策室長 適切

に管理していく。

小林議員 配布されて

いる資料と内容が違うが。

遊水地対策室長 登記

簿謄本に記載されているものを配布した。今回の解体については、実測した坪数、面積になっている。

小針議員 解体以降の

今後のスケジュールは。

村長 庁内にプロジェ

クトチームを作り、公共施設・子育てに関連する施設、宅地など、様々な

視点で検討している。

小針議員 南側の田ん

ぼ等、購入する考えは。

村長 少し幅広い範囲の中で有効活用が可能であれば、検討していく。

議案第72号

すがまプラザ校庭法
面地すべり防止工事
請負契約の締結

〔質疑〕

小林議員 当初予算の計上があまりにも違うが。

企画政策課長 当初の

予算要求時における金額と、今回の工事請負費の差額については、9月の補正予算要求時には、詳細な工法の検討に至らず深層混合処理工法で概算工事費としていたが、グラウンドアンカー工法^(注1)の併用が可能という結果に至り、工事費の圧縮ができた。



地すべり防止工事箇所

(注1)グラウンドアンカー工法とは、のり面の地中にアンカーを打ちこむもので、表層部の崩落防止や岩盤の剥落防止に適する。

令和5年度 一般会計 補正予算

歳入歳出それぞれ2億2758万円を追加して予算総額52億8551万円とする。

〔質疑〕

大和田議員 生活困窮

世帯緊急補助事業補助金3500万円の、対象世帯と金額の見込みは。また、12月末までの支給は可能か。

健康福祉課長 今年度

の住民税非課税世帯に、1世帯当たり7万円の支給。1月に対象者の抽出を行い、早くても来年の1月末あたりの支給になる。

大和田議員 農業資材

価格等高騰対策継続支援事業補助金2880万円

の内容は。

産業振興課長 令和4

年の所得申告をベースとして、農業の経費として計上された10%を上限として、最大15万円の補助をする。

大和田議員 各学校の

学校管理備品の内容は。

教育課長 各学校の屋

内消火栓の整備点検の結果、消火用ホースが設置から10年経過したことにより、合計46本を新しくする。



屋内消火栓設備

小針議員 雇用確保支援

事業補助金1750万円の内容と条件は。

産業振興課長 1人で

も雇用している事業者に対して、従業員1人当たり、1万円を補助する。現在1

43社が対象で、従業員数が1750人で計上。

小針議員 村道維持補修

工事966万円の工事箇所は。

地域整備課長 修繕箇所

は全部で5箇所。うち3箇所が小高地区で、残りは竜崎地区と四辻新田地区。

小林議員 実施計画策定

業務委託料2800万円の必要性と計画の内容は。

産業振興課長 竜崎地

区の三ツ池について、令和6年に実施設計する予定だったが、緊急性があることから、県から早めの補助金の内示があったため、前倒しで実施計画を組み、予算計上した。

小林議員 森林再生事業

委託料6693万円の場所と面積は。

産業振興課長 人工林

のみの該当ということであったが、年度別計画策定箇所については該当となった。実施面積は現時点で、20・33ヘクタールを予定。

飯島議員 農業集落排水

事業補助金32万円の内容は。

地域整備課長 職員の

人件費と口座振替手数料の増額があり計上した。

玉川村議会 第3回臨時会

第3回臨時会は11月20日に開催され、村長から提出された条例改正1件及び不動産売買契約の締結1件を審議し、可決された。

審議議案一覧

議案第59号

職員の分限の手續及び効果に関する条例の一部改正

〔質疑〕

塩澤議員 失職の特例

のことであるが、不注意で死亡事故とかを起こした場合や今年度の産業まつりでのテント事故は誰が責任をとることになるのか。

総務課長 テント事故

については、産業まつり

議案第60号

空き家対策における不動産売買契約の締結

空き家となっていた旧駒木根工業(株)福島工場に関する不動産を村が取得する契約。

村政ここがききたい 4人の議員が質問

一般質問とは、議員が村長など執行機関に対し、行政全般にわたる施策の状況や方針などについて説明や報告を求めるもの。

住民を代表しての発言の場であることから、大きな関心と期待を持たれる大事な議員活動でもある。

1. 大羅 将 9 (1)玉川村ホームページについて (2)玉川村公式LINEについて (3)市町村対抗スポーツ大会について	2. 佐久間安裕 10 (1)玉川村学校給食センターの運営について (2)保育事業の拡充への対応について (3)高齢者福祉事業について
3. 塩澤 重男 11 (1)超高齢化対策について (2)地域の環境整備について (3)物価高騰対策について	4. 石井 清勝 12 (1)行方不明者の捜索について



一般質問登壇状況（令和2年6月定例会～令和5年12月定例会）

	令和2年			令和3年				令和4年				令和5年				計(回数)
	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	
須藤 安昭	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(議員辞職)				11
林 芳子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(議員辞職)				11
大羅 将													○	○	○	3
佐久間安裕													○	○	○	3
小針竹千代	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○		12
石井 清勝	○	○		○		○		○		○	○	○	○	○	○	11
渡邊 一雄		○														1
小林 徳清		○		○		○		○		○		○		○		7
大和田 宏	○		○		○		○		○			○	○	○		8
飯島 三郎				○					○							2
西川 良英																0
三瓶 力			○					○					○			3
塩澤 重男			○				○				○				○	4
須藤 利夫	(議長)			(議長)				(議長)				(議長)				
	5	6	6	6	4	5	5	6	5	5	4	4	5	6	4	76



おおら ひとし
大羅 将 議員

Q玉川村ホームページの更新は A更新作業を円滑に進め利用しやすく改善

問 ホームページは令和5年4月にリニューアルが行われたが、イベント情報の更新がされていない。現状と今後の取組みは。

答 担当課が記事を作成後、広報広聴係が直接更新を行っているが、通常業務と兼務しているため、適時適切に最新情報を更新でき

る体制にないことが課題。

今後は、11月に任命した地域おこし協力隊の情報発信支援員との協働連携をして改善していく。

問 リニューアルに至った経緯は。

答 導入から10年が経過しており、デザインなどの古さや、各課の情報整理の必要性が認められたため。

問 リニューアル以降の閲覧数は。

答 ユーザー数は3万7847人、セッション数は5万7408回、ページビュー数は14万447P

問 リニューアルした効果は。

答 平均セッション時間が1分51秒から2分38秒と増え、直帰率も50%から37・04%と改善されており、効果を感じている。

問 自治体の広報活動として、相性がいいとされているインスタグラムの導入は。

答 情報発信支援員の協力を得ながら、現在導入に向けて既に準備を進めている。

問 SNSが普及すると共に増える、情報格差・情報弱者への具体的な取り組みは。

答 高齢者の方々や、SNS等の利用が難しいという方を対象にした、スマホ使い方教室等の優しいところから、事業展開ができないか、調査研究していく考え。



玉川村
イベントカレンダー
QRコード

Q玉川村公式LINEの配信は A配信する内容の充実に努める

問 令和5年5月から、玉川村公式LINEの運用が開始された。端末に直接

情報が届き、リアルタイムで受信でき、手軽に確認することができるようになったが、玉川村公式LINEの現状は。

答 運用開始時点で75人の登録でしたが、12月1日時点で161人の友達登録があり、少しずつだが、増加している状況にある。

問 運用管理責任者と担当者。

答 責任者が総務課長、担当者が広報広聴係となっている。

問 投稿する際の運用基準は。

答 玉川村LINE公式アカウント運用基準を定めており、今後公表をしていく考え。

問 投稿頻度と投稿時間は。

答 投稿頻度は定めていないが、投稿時間は、基本的には平日8時30分から17時15分。

問 友達登録を促す周知方法は。

答 広報たまかわに毎月掲載し、各関係機関にもQRコードを印刷したPOPを設置する。



玉川村公式LINE
QRコード

Q市町村対抗スポーツ大会の来年度の支援は A実態調査した結果を踏まえ支援を検討

問 バスの貸し出し支援に関して、今年度中に判断できるのか。

答 事故の対応と、運転手の確保等の課題検証を行い検討する。

問 支援補助金の増額は。

答 見直すところはしっかりと見直した上で、必要なものには必要な支援をしていくことが大事だと考えており、意見交換を行いながら、より良い形になるように努める。



さく ま やすひろ
佐久間安裕 議員

Q物価高騰による学校給食の影響は
A事業者と連携して安定提供に努める

問 昨今の燃料費高騰により、光熱費等物価高騰及び人件費の上昇による学校給食センターへの影響は。

答 調理用食材、燃料費、輸送費は高騰しているが、事業者と連携を図り安定供給に努める。

問 給食費軽減事業予算の見通しは。

答 今後も継続して半額助成事業は継続する。



玉川村学校給食センター

Q病児保育の現状は
A支援の充実を図る

問 長引く物価高による保護者の負担増対応は。

答 物価高騰に直面する保護者の負担軽減を図り、引き続き支援を継続する。

問 物価高による必要経費増加により予算はどの程度増加するのか。

答 委託事業者との折衝をしているが、本年度と比較して約3%程度増額の見通し。

問 保育事業において「一時預かり保育」や「病児保育」の重要性は高まっており、移住者は監護を依頼できる方がいない場合がある。「生まれて良かった、住んで良かった」を選んで良かった玉川村」を目指す須賀村政の施策の柱となるのでは。

答 一時預かり保育については、住所や年齢などの対象要件はあるが令和2年10月から実施。「病児保育」については、令和3年4月より郡山市内の施設において、病児治療中又は回復期にある児童を対象に実施。保護者が勤務等により家庭での保育ができない場合に、生後6ヶ月から小学6年生までを対象。病児保育事業の対応施設は郡山市内の施設のみで、現在までの利用実績は1人。

問 「一時預かり保育」の利用の基準は。

答 村内に住所を有し、村内外の施設を利用していない生後12ヶ月以上の幼児、又は里帰り出産で帰省している保護者の子

で、祖父母が村内に住所を有している幼児が対象。週3日を上限として利用可能。

問 現在までの利用者数は。

答 述べ19人が利用。

問 病児保育室は近隣町村では、管内に施設があり利用できる。須賀川市は市内須賀川病院付属保育室が対応施設となっている。そちらを利用できれば、より利便性があるが。

答 須賀川病院付属保育室については、須賀川市外の方も利用は可能である。事前登録制であること、病気の回復期にある「病後児限定」であることなど、様々な利用条件があるが、利用可能な施設として、保護者に情報提供を考えたい。



Q高齢者のショートステイ利用時の傷病対応は
A施設内において適切に対応

問 急激な少子高齢化の状況は我が村においても同様である。本村も65歳以上の人口比率は33%台となっている。介護における施設利用「ショートステイ」滞在中における傷病発生時における預かり対応は。

答 利用中における体調不良になった場合、施設の対応は、緊急時には救急車要請。緊急以外は、家族に連絡して対応をお願いする。

問 在宅病児監護サービス（シッター制度）などは。

答 現在、シッター制度に関する情報はありませんでした。

Q超高齢化 対策は A玉川モデルを 構築

高齢者に足の確保を

問 高齢者の交通事故増加で免許返納の環境整備は。

問 交通弱者の対策は。

答 玉川モデルの構築に向け検討していく。

問 移動販売サービスの成果と今後の展開は。

答 毎月曜日に集会所、公民館を回る。猛暑、大雨、安全面で課題が残る。事業内容を見直し、御用聞きサービスで対応していく。



しおざわ しげお
塩澤 重男 議員

問 御用聞きサービスの成果と今後の展開は。

答 38名が登録。

買い物・病院・銀行の付き添い等で「大変便利でありがたい」との声が多い。

見守りや買い物支援も対応し、来年度以降も実施、拡充していく。

問 高齢者でも依頼できる簡単な方法は。

答 登録が必要。時間と内容を記入し申し込む。

問 東部地区と本庁舎を結ぶ交通や村内を一周する巡回バスの検討は。

答 御用聞きサービスの要望も含めどのような姿がふさわしいか総合的に検討していく。



御用聞きサービス

Q地域の環境整備は A年次計画を 策定

住みよい地域づくりを

問 区からの要望件数は。

答 令和5年度75件。

問 未実施の実施計画は。

答 未実施の箇所はない。

問 議員、住民が口頭での要望は記録しているか。

答 現地確認し道路補修員、専門業者で対応している。

問 区長も担当者も代わる。要望した人は覚えていて。引継ぎはしているか。

答 年度末に引き継ぎ書により対応済、未実施分が無い場合も含めて引き継ぎを行う。

問 結果の報告がないのが問題、未実施の理由を付して、毎年度末区長に報告すべき。

答 年度末に報告すること可能。

問 議会で採択した請願の実施状況は。

問 本年度3件対応。未実施の解消計画は。

答 危険性、緊急性を検討、財政状況等を勘案し、優先順位をつけて対応する。基本的には補助金、交付金事業を活用し計画的に取り組む。

問 請願は議会で採択した責任がある。放置したままでは議会不信となる。

毎年度末議会に結果報告を出すべきと考えるが。

Q物価高騰 対策は A農業・工業 へ補助金

すべて値上げラッシュ

問 物価高騰対策での施策は。

答 令和4年分農業資材等の申告10%を補助。上限は15万円まで。

企業の雇用確保のため従業員数1名1万円の交付。143

答 議員の全員協議会等の機会で説明したい。



竣工の請願箇所

社対象。

問 生活困窮者・低所得者への支援は。

答 生活困窮世帯に3万円支給完了。対象一世帯に6千円の支給。低所得者枠で7万円が追加支給される。

問 プレミアム商品券の拡充はあるのか。

答 今年度分の更なる拡充は考えていない。

問 子育て家庭への支援は。低所得の子育て世帯も含んでいる。

問 物価高騰生活応援で村単独の支援策は。

答 農業資材等、国の交付金に村がプラスして交付している。



いしきよかつ
石井 清勝 議員

Q行方不明者搜索の
マニュアル化は
A現在のところ予定
はない

問 今年の10月に行方不明の事案が発生した。近隣の市町村で、搜索のマニュアルを作成している事例はあるか。

答 確認したところ作成している事例はない。

問 本村ではマニュアルを作る予定があるか。



玉川村消防団現場指揮本部

答 搜索の主体は警察であり指揮系統が複数あると現場の妨げになるため作成する予定はない。

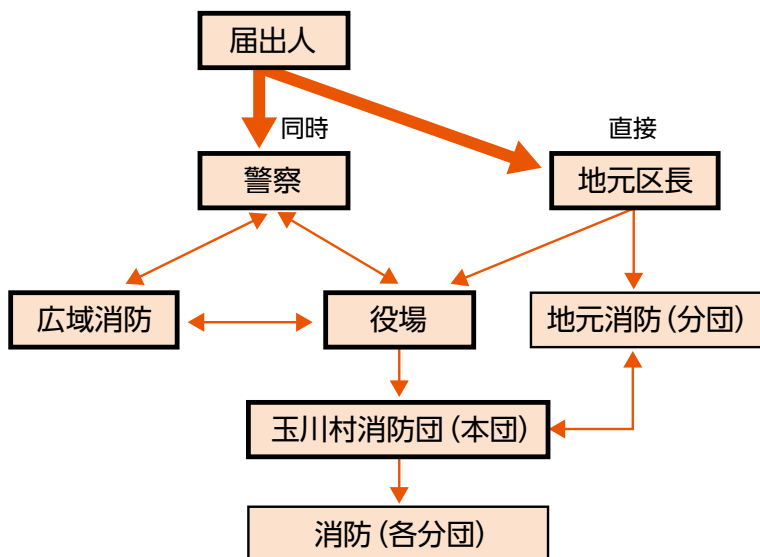
問 搜索が数日間に及んだ場合に、従事した消防団員への手当支給はあるのか。

答 支給要件に基づき村で支給する。

問 消防に緊急消防援助隊とか、警察の緊急警察援助隊があるが、村として知っているか。

答 組織について認識はございません。引き続き関係機関との情報共有を図りながら、しっかりと連携し対応していく。

行方不明者搜索の流れ



警察の広域緊急援助隊や消防の緊急消防援助隊は、震災などの大規模な災害が発生した時に出勤する全国規模の部隊だよ。



議員定数に関するアンケート調査結果

(1) 配付及び回収結果

配付数	1,799
回収数	1,029
回収率	57.20%

配付日：令和5年10月12日～順次

回収期日：令和5年11月20日

調査方法：全戸数、各世帯1枚

(2) 問1 本アンケート調査をご記入された方の年代を教えてください。

年代	回答数	年代	回答数
① 18～29歳	10	④ 50代	193
② 30代	36	⑤ 60代以上	649
③ 40代	119	未記入	22

(3-1) 問2 玉川村議会の議員定数は、何人が適正であると思いますか。

定数	回答数	⑤ その他 内訳	定数	回答	定数	回答
① 18人	22		0人	1	14人	1
② 12人	382		1人	1	16人	1
③ 10人	402		2人	1	1～2人	1
④ 8人以下	156		3人	1	0～5人	1
⑤ その他	38		5人	5	8か10人	2
未記入	29		6人	4	8～10人	1
合計	1,029		7人	1	12か18人	1
			8人	1	7人以下	1
			9人	2	記入なし	6
			11人	6		

(3-1) 問2 年代ごとの議員定数に関する回答結果は次のとおり。

年代	回答数	議員定数に関する回答内訳					
		18人	12人	10人	8人以下	その他	未記入
18-29歳	10	2	4	3	1	0	0
30代	36	0	22	6	5	2	1
40代	119	5	56	38	14	5	1
50代	193	4	87	67	26	8	1
60代以上	649	11	213	287	109	23	6
未記入	22	0	0	1	1	0	20
合計	1,029	22	382	402	156	38	29

※お寄せいただいた多くのご意見等は、執行部と情報の共有を図り、改善できる部分から改善していきます。

議員定数の見直しにあたり、 全員協議会で協議を重ねた。

R 5. 9. 14

議員定数についての協議

近隣の議会では、議員定数見直しの動きがあり、本年度実際に議員定数を削減した議会も出てきていることから、玉川村議会として議員定数について協議を行った。

◆主な意見

- ①最近の急激な人口減少に伴い、議員定数の削減は避けられないので、議員定数を削減する議案を本会議に提出し、議場で賛否を決するべきである。
- ②住民の意向や考えを確認したうえで、その意見を尊重すべきであるので、住民アンケート調査を実施してはどうか。
- ③議員定数削減ありきではなく、議員活動の見直し等を行いながら、活動していく上で必要な人数を算出していく必要があるのではないか。
- ④若い方や女性のなり手を増やすためにも、報酬アップも検討すべきでは。 など



協議結果

住民の意向を確認する必要性が認められるので、住民アンケート調査を実施し、その結果を踏まえて検討していく。

R 5. 10. 12～

議員定数に関するアンケート調査の実施

R 5. 11. 20

議員定数に関するアンケート調査の回収

R 5. 11. 20

議員定数に関するアンケート調査（中間報告）

令和5年11月15日現在におけるアンケート調査票の回収状況について、中間報告を行った。
11月20日が最終の回収期限となるため、回収が完了し、最終結果がまとまった時点で協議を再開する。



(次のページへ)

R 5. 11. 24

議員定数に関するアンケート調査（最終報告）
議員定数についての協議

アンケート調査結果を踏まえて、全員協議会を開催し、定数削減について協議を行った。

◆反対意見

- ➡アンケートの回答結果では、若い世代の意見は現状維持が多いことから、若い方や女性の方のなり手を増やすことを考えると、削減すべきではなく現状維持とすべき。
- ➡アンケート結果では、現状維持の意見は2番目に多く僅差でもあるので、この意見を切り捨ててしまってもいいのか疑問である。 など

○賛成意見

- ➡アンケート結果を見ても、定数削減が半数以上を占めていることから、民意は定数削減であると確認されたので、アンケート結果を尊重し、削減すべきである。
- ➡アンケートを取った以上は、アンケート結果を尊重しなければならない。村民の理解と協力が得られるよう、議員自らが身を切り、削減すべきである。 など



協議結果

様々な意見が出されたため、各自で意見をまとめたうえで、再度協議を行う。



R 5. 12. 1

議員定数についての協議

再度、全員協議会を開催し、定数削減について協議を行った。

「反対意見」「賛成意見」とも前回の会議とほぼ同じであり、これ以上討論を重ねても進展しないと認められた。



協議結果

12月定例会に議員発議で「議員定数を10人とする条例改正（案）」を提出し、本会議において審議することとなった。



**本会議での審議結果は、議員発議は否決、現状維持の12人で決定した。
（本誌4～5ページに本会議での審議内容を記載しています。）**

議員発議で 玉川村議会基本条例制定特別委員会を設置!!

議会基本条例とは

議会の理念・あるべき姿、議会と議員の活動原則や住民参加を推進することを明文化した、議会運営の基本原則を定めるもの。

条例に定める主な内容は次のとおり。

- 1) 議会の活動原則について
- 2) 議員の活動原則について
- 3) 議会活動の情報の公開や議会報告会の開催について
- 4) 広報公聴機能の充実強化について
- 5) 通年議会、休日及び夜間議会の開催について
- 6) 議会及び議会事務局の体制整備について
- 7) 災害時の対応について

基本条例って
なあに？



議員は、本条例にしたがい、議会での議論を活発にし、公平・公正・透明で開かれた議会づくりを推進していき、真に住民の負託にこたえ得る議会の実現をめざします。

これまでの活動は

検討委員会を設置し、先進事例の調査・研究を進め、本議会に合った素案づくりに向けた検討を行ってきました。

1. 玉川村議会基本条例制定検討委員会（委員長：塩澤重男／副委員長：小針竹千代）

期間：令和2年12月8日～特別委員会設置まで

委員：5名

令和2年12月～（塩澤重男・石井清勝・小針竹千代・林芳子・須藤安昭）

令和5年4月～（塩澤重男・石井清勝・小針竹千代・佐久間安裕・大羅将）

2. 玉川村議会基本条例制定特別委員会（委員長：塩澤重男／副委員長：小針竹千代）

期間：令和5年12月13日～

委員：5名

（塩澤重男・石井清勝・小針竹千代・佐久間安裕・大羅将）

公立岩瀬病院企業団議会、 石川地方生活環境施設組合議会・須賀川地方広域消防組合議会 定例会・臨時会レポート

当村議会から公立岩瀬病院企業団議会、石川地方生活環境施設組合議会、須賀川地方広域消防組合議会、それぞれの議会議員として定例会等へ出席しているよ。
今回は9月定例会以降に開催された各議会についての概要をお知らせするね。



○ 公立岩瀬病院企業団議会

村の負担金 843万円

1名出席（大和田 宏議員）

令和5年9月定例会／令和5年10月31日開催

- ・令和4年度公立岩瀬病院企業団病院事業会計継続費精算 …………… 報告
- ・令和4年度公立岩瀬病院企業団病院事業会計資金不足比率 …………… 報告
- ・令和4年度公立岩瀬病院企業団病院事業会計決算 …………… 認定

○ 須賀川地方広域消防組合議会

村の負担金 1億4,469万円

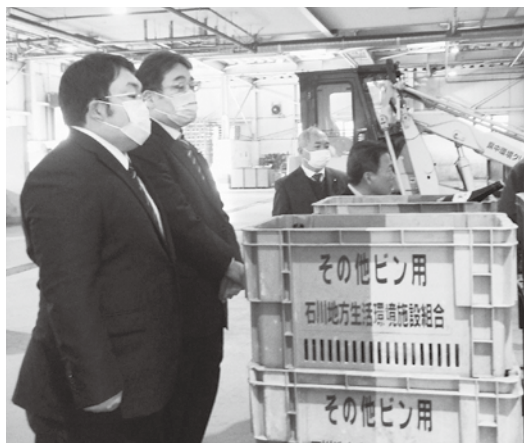
1名出席（西川 良英議員）

令和5年10月定例会／令和5年10月30日開催

- ・須賀川地方広域消防組合監査委員の選任 …………… 同意
- ・須賀川地方広域消防組合火災予防条例の一部改正 …………… 可決
- ・令和5年度須賀川地方広域消防組合一般会計補正予算（第2号） …………… 可決
- ・令和4年度須賀川地方広域消防組合一般会計歳入歳出決算 …………… 認定

○ 石川地方生活環境組合施設組合議会

村の負担金 1億5,495万円



きららクリーンセンター 現地視察

3名出席

（小針竹千代議員、佐久間安裕議員、大羅将議員）

全員協議会／令和5年11月24日開催

- ・災害協定の締結 …………… 報告
- ・次期一般廃棄物最終処分場（浅川町）候補地選定 …………… 報告
- ・製品プラスチック廃棄物の回収 …………… 協議、視察
- ・原料等高騰に伴う指定袋の小売価格改定 …………… 協議

行事（議員活動）一覧 「令和5年10月～令和6年1月」

今回の議員定数に関するアンケート調査結果では、「議員の仕事が分からない」「活動内容が見えてこない」といった御意見を多くいただきました。このため、議員活動の見える化を図っていくことが必要と考え、今回より議会広報誌面上で3ヶ月分の行事（議員活動）をお知らせいたします。

今後もお寄せいただいた御意見の中で、改善できる部分は改善していくよう努めてまいります。

○は出席 ×は欠席 ーは担当外

年月	日	行事（活動）名	大 羅	佐 久 間	小 針	石 井	渡 邊	小 林	大 和 田	飯 島	西 川	三 瓶	塩 澤	須 藤
R5.10	23	総務産業建設常任委員会現地視察（村内）	○	○	○	○	○	ー	ー	ー	○	ー	ー	○
		県主催町村議会議員研修会（郡山市）	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
	24～25	監査委員全国研修会（東京都）	ー	ー	ー	○	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
	30	須賀川地方広域消防組合議会定例会（須賀川市）	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	○	ー	ー	ー
	31	公立岩瀬病院企業団議会定例会（須賀川市）	ー	ー	ー	ー	ー	ー	○	ー	ー	ー	ー	ー
		台湾省鹿谷郷訪問団歓迎レセプション（石川町）	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○
R5.11	3	玉川村表彰式（就業改善センター）	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
	7	議会基本条例制定検討委員会	○	○	○	○	ー	ー	ー	ー	ー	ー	○	○
		石川地方町村議会議員研修会（マーズェラス末広）	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
	13	アンケート調査集計作業	ー	ー	○	○	ー	○	○	○	ー	ー	ー	○
	17	玉川村戦没者追悼式・慰霊祭（文化体育館）	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
	19	ふくしま駅伝大会「応援」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	20	第3回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	24	石川地方生活環境施設組合議会全員協議会（石川町）	○	○	○	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
		全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	29	第67回町村議会議長全国大会（東京都）	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	○
R5.12	1	議会運営委員会	ー	ー	○	○	ー	○	○	○	ー	ー	○	○
		議会広報編集特別委員会	○	○	○	ー	ー	ー	○	ー	ー	ー	○	ー
		全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		玉川村教育懇談会（就業改善センター）	ー	ー	ー	ー	ー	ー	○	○	ー	ー	○	○
	6	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	8	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	8～13	12月定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	12	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	26	公立岩瀬病院企業団議会定例会（須賀川市）	ー	ー	ー	ー	ー	ー	○	ー	ー	ー	ー	ー
	27	石川地方生活環境施設組合議会定例会（石川町）	○	○	○	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
		議会広報編集特別委員会	○	○	○	ー	ー	ー	○	ー	ー	ー	○	ー
		議会基本条例制定特別委員会	○	○	○	○	ー	ー	ー	ー	ー	ー	○	○
R6.1	4	令和6年仕事始め式（就業改善センター）	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	○
		令和6年新春互礼会	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○
	7	令和6年消防出初式（文化体育館）	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
		令和6年二十歳を祝う会（マーズェラス末広）	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
	12	議会広報編集特別委員会	○	○	○	ー	ー	ー	○	ー	ー	ー	○	ー
		石川地方町村議会議長会議（石川町）	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	○

総務産業建設常任委員会 現地視察（10月23日）

総務産業建設常任委員会では、生活インフラ整備としての村道整備状況等の確認を行うため、昨年度竣工した村道四－5号線、本年度施工中の中－16号線や上水道整備関連事業施工箇所の現地視察を実施しました。

また、観光交流施設森の駅yodgeにおける令和5年度運営状況や施設の稼働状況等の確認も実施しました。

- ①村道中－16号線（大字中字前作田地内） ⇒ 施工中
- ②村道四－5号線（大字四辻新田字村中地内） ⇒ 令和4年度竣工
- ③水道未普及地域解消事業施工箇所（大字四辻新田地内） ⇒ 施工中
- ④観光交流施設森の駅yodgeにおける令和5年度運営状況の確認



中－16号線の現地視察



四辻新田地内配水池の現地視察

※出席者：石井委員長・小針副委員長・西川議員・渡邊議員・佐久間議員・大羅議員・須藤議長

石川地方町村議会議員研修会（11月7日）

本年度の石川地方町村議会議員研修会が、石川地方5町村の議員59名、町村長5名、事務局担当職員12名が出席し、マーズェラス末広で開催されました。

福島大学 共生システム理工学類 教授 川崎興太氏より、「福島復興の到達点と展望」（福島原発事故からの12年間復興に向けた課題）と題し、講演が行われました。



福島大学川崎興太教授による講演

11/3

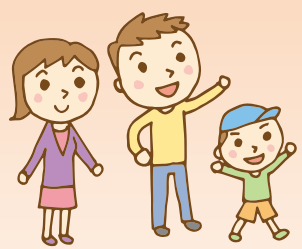
飯島三郎議員 功労表彰受賞

玉川村表彰式は11月3日に開催され、席上で功労表彰3名・感謝状贈呈1名が受賞されました。

飯島三郎議員が、議員通算12年・農業委員会委員通算3年となり、その功績が認められ、玉川村の功労表彰を受賞されました。栄えある受賞、誠におめでとうございます。



いいじま さぶろう
飯島 三郎 議員



村民の声

Vol.27

女性から見た
まちづくり研究会
委員
しおざわ みねこ
塩澤 峰子さん



●住みよい村づくりについて

玉川村は高齢者が多いので、小さな子供から高齢者まで多世代が交流できる場所やイベントがあればいいと思います。また、子育てをしている世代の方々が集える賑わいのある玉川村にすれば、移住したい・来たいと思ってもらえるようになるので、安心して子育てのできる村づくりを期待しています。

女研(女性から見たまちづくり研究会)とは

子育て中のママを中心としたメンバーにより、女性ならではの視点で日常の問題点や日頃の悩み、子育て支援等話し合い、玉川村に対する施策提言を行う会です。



女性から見た
まちづくり研究会
委員
ほし まさこ
星 雅子さん



●議会に対して

議員定数に関するアンケート調査を拝見して、情報発信が村民に届いていない、という声が多く見られました。村民の声を聴く機会や議員の方々との意見交換などができる場があったらいいな、と思いました。村長室訪問日というもの、月に1回あるそうなので、広報に毎月掲載していただくと、私たち村民も行きやすいと思います。

●村に対して

「玉川村観光交流施設（仮称）複合型水辺施設」の愛称が「乙な駅たまかわ」に決定し、施設整備が進んでいます。5月にはたくさんの鯉のぼりが飾られ、その他にも「乙な市」「乙や夜市」などのイベントも開催されます。子どもから大人まで楽しめる観光施設が完成することを、心から楽しみにしています。



新年の訪れ

あけましておめでとうござい
ます。本年も議会だよりを宜し
くお願い申し上げます。
議会だよりは、議会活動を村
民の皆様理解していただくこ
共に、議会に対して少しでも興
味をもって頂けるように、何度
も校正を行い、見やすい議会広
報作りを目指しております。
本年も寒い季節となり、空気
が乾燥しています。風邪や火災
等に十分に気を付け、ご健康で
幸多き一年となりますように、
お祈り申し上げます。
(大羅 将)

あ
と
が
き